

(令和5年度)

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	総合芸術コース 美術・工芸専攻	対象学年	2年
講義日	令和5年9月19日(火)～令和5年12月4日(月)		
テーマ	さまざまな素材を使って自己の表現世界を探る 1. 学園祭作品の講評会 2. 校外学習「神戸市立小磯記念美術館」 3. 自分だけの落款を作ろう 4. 自画像 5. パスを使って気持ちを表わす		
講師	岸本吉弘 勅使河原君江 古溝幽哇 鋤田和見		
講義内容			
1. 学園祭作品の講評会 (岸本吉弘) 全1回 再現力(構図、描写)、表現力(色彩、マチエール)などの視点から、皆さんの作品を振り返り、今後の課題も探ります。			
2. 【校外学習】神戸市立小磯記念美術館 (勅使河原君江) 全1回 神戸の画家、小磯良平や神戸にゆかりある作家の作品の理解を深めると共に主体的に鑑賞できる力を養います。			
3. 自分だけの落款を作ろう (古溝幽哇) 全2回 篆刻に取り組みます。書の作品だけでなく、版画やデッサン、水彩画などのサインに使うことができる落款を作ります。			
4. 自画像 (鋤田和見) 全1回 自画像を描く際に、自分の姿かたちを描くだけでなく、自分の内面世界(性格、自分の思いや願い、自分を取り巻く世界など)も表現し、より深い自己表現に挑戦してみましよう。			
5. パスを使って気持ちを表わす (鋤田和見) 全1回 パステルを使って、具象的な表現にこだわらず、色の重なりやパステルの柔らかなマチエールを生かして、感情を表してみましよう。			
講師からのメッセージ			
2学期は自画像やパステルを使った作品制作に挑戦します。絵画作品の魅力は「上手さ」とは別の次元にあります。絵を描く技術や経験も大事ですが、自分ならではのユニークな表現を期待しています。また、自分だけの落款を制作したり、美術館での鑑賞活動を行ったりとさまざまな美術体験へ挑戦していきましょう。			

(令和5年度)

神戸市シルバーカレッジ講義概要(シラバス)

コース 専攻	総合芸術コース 美術・工芸専攻	対象学年	2年
講義日	令和5年10月25日、11月8日		
テーマ	自分だけの落款印を作ろう①②		
講師	篆刻家 古溝 幽畦		
講義内容	<p>1. ねらい</p> <p>脱印に移行する現代社会であるが、その印の歴史や由来を紐解き、そして現在の芸術としての篆刻についての理解し、自分自身の印を制作する。</p> <p>2. 主な内容</p> <p>(1)印の歴史</p> <p>古代中国の印の歴史について理解を深める。</p> <p>(2)篆書について</p> <p>印に使用されてきた篆書体について書体の変遷から学ぶ。</p> <p>(3)篆刻の技法</p> <p>印を作るにあたっての諸道具の説明や手順などを説明し、自分自身の印を制作する。</p>		
講師からのメッセージ	<p>篆刻と聞くと何となく難しく取っつきにくいもののお考えだと思いますが、あまり難しく考えず、楽しく自分の印を作りましょう。</p>		